



問 今後の出張所および公民館の在り方について問う

2025年5月から津市出張所機能の在り方検討懇話会が開催されており、11月の第3回会議において、津地域以外の地域にある14か所の出張所の機能は併設または隣接する施設に集約していくという案が示された。これは、主に公民館に集約されていくものと思われ、公民館職員にとって大きな負担となることが危惧されるが、どのような人員体制で、どのような業務に対応する考えなのか。

答 懇話会の意見を踏まえながら検討していく

出張所機能を併設または隣接する施設に集約した場合、現在の出張所の業務のうち市民や地域団体からの相談は集約先の施設が担うこととなるが、回答が難しい場合は各総合支所の担当課等につなぐことを想定している。また、証明書の発行はマルチコピー機の活用を想定しており、集約先の施設内にマルチコピー機を設置する場合は、操作の案内や補助を想定している。

人員の体制は、集約先となる施設で取り扱う業務の内容や量に基づき検討していくこととなるが、少なくとも1名は出張所等での業務経験者を配置するなどの対応ができればと考えている。

その他の質疑・質問

- 白山地域の小学校の統合について
- 実施設計等業務委託料について
- 新小学校の車両進入路について
- 廃校利用の方向性について
- 空き家対策について
- 空き家の利活用について
- 熊の目撃情報に対する対応について

▶
法制度とデジタル施策の両面から、さらなる空き家利活用の推進を期待する



問 コスモス作業所の高台移転に伴い指定福祉避難所とする考えは

コスモス作業所は築後50年が経過し、洪水ハザードマップの浸水想定区域内に位置しているため、海拔30メートルのとことめの里一志内パターゴルフ場跡地に新築移転することになった。新しくなり、浸水の心配もなくなる同施設を、一般の指定避難所では避難生活に支障が想定される要配慮者を受け入れられる指定福祉避難所として活用することについて、市の考えを問う。

答 コスモス作業所移転後、早い段階で指定に向け取り組んでいく

新たなコスモス作業所は令和7年6月に国の補助内示を受けた後に着工し、現在順調に工事が進んでいることを確認しており、令和8年3月末に工事が完了し、利用者やその家族等への説明を経て、2か月以内に開設される予定となっている。

発災後、必要に応じて開設される指定福祉避難所として同施設を指定するためには、建設から運営までを全て行う社会福祉法人津市社会福祉事業団と協議を行い、協定を締結する必要がある。今後、開設後の利用状況や運営状況等の把握を行い、早い段階で協議が整うよう取り組んでいく。

その他の質疑・質問

- 一級河川雲出川水系の河川整備の加速化に向けた取り組みと波瀬川合流地点の無堤部およびその周辺の整備計画は
- 一志地域の雨水管理計画の進捗とポンプ場のみならず老朽化している排水路の細やかな整備は
- 川合地区の民家および通学路の上部にある危険な新池の防災対策工事の内容と事業効果は など

▶
海拔30メートルのとことめの里一志内に新築中のコスモス作業所

